

【資料②】

『ペーパー・リリイ』初校ゲラ(河出書房新社刊)より

八日 民宿
 九日 和テイスト旅館
 十日 (祭り) 夜更かし 先少く
 十一日 (別荘) 別荘

杏の口調と
 年齢的にママがいきなりです

寝ママ

回収するわ

水滴を払いながら、立ち上がった。そのまま、うーん、と背伸びをする。ボキボキ、と骨の鳴る音が聞こえた。

「あーよく寝た。夜眠れるかしら」

「寝れるっしょ。言ってもあと七時間ぐらいあるし」

「あんたは育ち盛りだからいくらでも寝れるわよ。わたしはもう無理。年取ると寝れなくなるのよ」

「そういうもん？」

旅館でも、ホテルでも、今朝の道

端でも——あれ、何回寝起きたっけ？

時間の感覚がむちゃくちゃになってきている。昨日は夜明け近くまで起きて歩いていた。

そこから少し眠って起きたら朝で、その次に起きたらもう夕方だ。

「今日って何日なんだろ」

「今日？ 十一日ね」

キヨエが携帯を確認して言った。

十一日。

「そういうことは、もうあと二日ほどしか残っていない。」

眠